



河村文夫 町長

新年明けましておめでとうございます。

町民皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、平成29年は、町の今後10年間の指針となる第5期長期総合計画の

## 年頭の挨拶



師岡伸公 議長

新年明けましておめでとうございます。

町民皆様には、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より町議会に対しましては、多大なるご理解、ご協力を賜り、

3年目であり、各事業を着実に実行し、結果を見出していく重要な年と位置付け、特に町の喫緊の課題である少子高齢化対策として、「町営若者住宅」を小丹波地内に3棟4戸・棚沢地内に1棟3戸整備し、7世帯22名の皆様に、昨年3月に入居いただきました。さらに、

小丹波地内に2棟4戸・大丹波地内に1棟3戸着工するとともに、空家を

感謝申し上げます。

私は、昨年11月に議長に就任しました。身に余る光栄であり、同時に責任の重大さに身の引き締まる思いであります。

さて、全国的な少子高齢化は奥多摩町も例外外ではありませんが、町の若者定住化対策、空き家対策の効果が徐々に花開き、昨年は、2月、5月、11月と人口の増加を見ることが出来ました。その

活用した「若者定住応援住宅」を長畑地内・海沢地内に1戸ずつ、また「移住体験住宅」として、日原地内に1戸整備したところであります。

一方、昨年10月には、第1期10名の入学生を迎え、「奥多摩日本語学校」が開校いたしました。今後も引き続き、若者住宅の整備、空家を活用した各種事業を推進する計画でありますので、町

一端として昨年10月に開校された「奥多摩日本語学校」の存在があります。地域の皆様、特に旧古里中学校周辺、川井地区の皆様には多大なご理解をいただきました。

今後は、地域の一員として文化・経済の発展に寄与していただくことを願っております。

新年に思いますことは、やはり町民皆様の健康であります。町では、

民皆様には、それぞれの地域、そして学校・保育園で、温かく迎えたいだきたく存じます。

一方、観光立町を推進するため、開催まで1千日を切った東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、インバウンド観光の拠点としてリニューアルして3年目となる「おきたまの風」はとのす荘」を町内外にさらにPRするとともに、

健康寿命を延ばすため数多くの事業を展開していきます。しかしながら、特定健診や保健指導などの受診率は、4割に満たない状況であります。

また、健康づくり事業の参加者も、限られた方々とどまっています。実施場所や交通手段など諸事情で参加できないこともあろうかと思いますが、ぜひとも、町に相談していただき、健康

森林セラピー事業とあわせ、町全体の観光業の活性化と振興を、引き続き図ってまいります。

これら事業を推進するために、事務事業の見直しに努め行政改革を引き続き行い、国・東京都からの財源を確保し、着実に町政運営を図ってまいります。

町民皆様のご理解ご支援をお願い申し上げ、年頭の挨拶とします。

増進のため積極的に事業に参加してほしいと願っています。

我が国を取り巻く世界情勢も緊張状態ではありますが、私たちが町民はしっかりと地に足をつけて、新年をスタートしてまいります。

結びに、本年が町民皆様にとりまして、健康で幸多き一年となりますことをご祈念申し上げます。新年の挨拶とします。